

白河市行政改革推進委員会 令和元年度第2回委員会会議録（要旨）

日 時	令和2年1月23日（木） 午後1時30分～午後3時00分
場 所	白河市役所 301会議室
出席者	委員7名 和知裕幸委員長、入谷みちこ委員長職務代理者、芳賀幸子委員、鈴木長一委員、市川淳一委員、小磯厚子委員、三浦徹委員
白 河 市	3名 常松総務部参事兼経営改革推進室長、 鈴木経営改革推進室主幹兼室長補佐兼係長、坂上主査
<p>1 開会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>■議事1： 白河市行政経営改革プラン（案）について 【事務局より説明】</p> <p>委 員 マイナンバーカードの普及状況はどうなっているのか。</p> <p>事務局 全国で高いところで30%弱、白河市では10%程度となっている。今後保険証の機能が追加されたり、自治体によってはマイナンバーカードを利用したポイント制度の活用により普及を伸ばしているところもある。</p> <p>委 員 マイナンバーカードが普及しない理由としては、カード所持に対するセキュリティ上の問題やカードを持つことに対するメリットが分からず、持っていないと不便がないことから、所持しようと思わないことが原因ではないか。</p> <p>委 員 マイナンバーカードが普及してからカードを利用したサービスを増やすのではなく、カードを持つことのメリットを先に整備しないと普及は増えないのではないか。また、マイナンバーカードを持つことのメリットやどのように管理すればよいか等を積極的にPRする必要がある。</p> <p>事務局 国の方針に左右されるところはあるが、カードを所持することをPRするなど市でできることは積極的に行っていきたい。</p>	

委員 職員の超過勤務を減らす取組みについては、前計画から取組んでいることであるが、どのように改善されたかの具体的なデータを示されていない。結果を提示するべきと考える。

事務局 震災以降減少傾向にあったが、昨年の台風の影響で集中的に増えている部署もある。今後計画の進行管理の中で報告していきたい。

委員 以前にも議題にあがったが、組織ごとに繁忙期と通常期があると思うので、柔軟に職員の配置を考えることに関してはどうなのか。

事務局 災害等で急激に業務量が変わった場合などの特殊要因があった場合は、不定期の人事異動により対応している。それ以外の通常想定される業務繁忙による柔軟な人事異動は実施していない。退職や新規雇用の調整等で難しい部分である。

委員 民間では1日の中でも同じ人がいろいろなセクションにいることがある。それは、従業員が自分で決めていることではなく、コントロールする人がいるからできることであり、このコントロールする人が重要である。ここの部分ができると、劇的に業務の改善が図れると考える。

委員 RPAやAIの導入については、高度情報化社会へ乗り遅れないために、早い段階で予算化していくべきであると考えます。

事務局 今年度にRPAとAIの実証実験を実施する。また、予算化も見据えている。

委員 プランの3つの柱のうち「提供力」に関しては、提供という言葉が行政側からの一方的な提供という感じがするので、「サービス力」などの言葉のほうが、市民と一体となってサービス提供をしていくという方針が分かりやすくなるのではないかと。

事務局 確かにそのように感じるので表現について検討する。

委員 市民を巻き込んだ活動をもっと増やしてもよいと感じる。

委員 広報紙で市民活動の特集を組めば、他の町内会などで意識が高まったり、特集を組まれた団体の活動の促進にもなるのではないかと。

事務局 計画の進行管理の中でそのような取組みも実施していきたい。

委員 補助金の見直しは必要である。国の補助と重複し二重行政になっているケースもあるのではないかと。

事務局 補助金の本来のあり方を認識し、補助金の交付状況を細かく調査し見直していく。

委員 受益者負担の見直しには賛成である。使用する側には、それなりの負担を伴う必要があると感じる。

委員 タダで利用するとムダな利用が増えたりもする。

委員 一方で、イベントなどで受益者負担を伴う場合は、それなりの企画内容が必要となる。

事務局 運営経費については、受益者負担以外の部分を利用しない方の税金で賄わなくてはならない。負担の公平性を考慮し、来年度4月からの施設使用料の改定も行っている。また、イベントなどでは、企画内容と料金設定のバランスが重要となる。

委員 自主財源の確保の部分で、クラウドファンディングについては、募集する目的が重要である。ネーミングライツではどのような施設に可能性があるのか。

事務局 コミネスや野球場などで考えられる。ただ、コミネスは愛称募集しているので難しいと思われる。

事務局 さまざまなご指摘があるように、本計画はさまざまな分野に関わってくるものであり、計画をいかに実行していくかが大事であり、委員の皆さまの意見を踏まえつつ、進行管理していきたいと考えている。

4 閉会